3-263-390-**02**(1)

FM/AM/TV ポータブル CDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

Atrac3plus

XP-ZR810

⚠警告 安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~7ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



→

1. **電源を切る。**
2. **ACパワーアダプターをコンセントから抜く。**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠警告　火災　感電　下記の注意を守らないと**火災・感電**、または**大けが**の原因となります。

運転、歩行中の使用について

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。



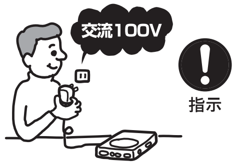
内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。



国内専用機は海外で使用しない。指定以外のACパワーアダプター、カーバッテリーコードを使わない。

- 国内専用機器に付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vでお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因になります。



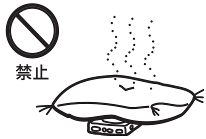
ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因になることがあります。



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

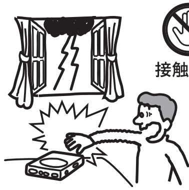
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。



⚠警告　火災　感電　下記の注意を守らないと**火災・感電**、または**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。



接触禁止

絶対に分解しない。

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。

分解禁止

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、6、7ページの注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド
（Ni-Cd）

ニッケル水素
（Ni-MH）

リチウムイオン
（Li-ion）

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

⚠警告 充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。
  電池を飲み込んだとき
  窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠警告 外付け乾電池ケースを付属している場合

- 外付け乾電池ケースも乾電池と同様に、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

こんなことができます!

オリジナルのATRAC CDを簡単に作ることができます。

「SonicStage」を使うには

本機に付属の「SonicStage」の説明書をご覧ください。

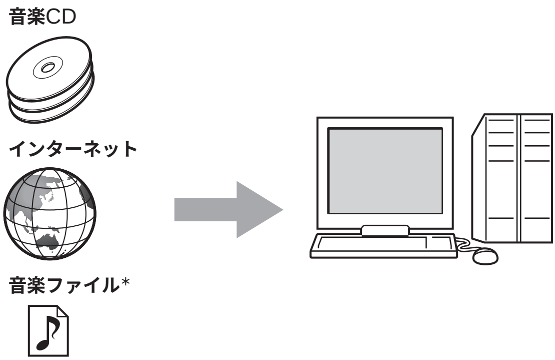
1 インストール

パソコンに、付属のソフトウェア「SonicStage」をインストールする。



2 保存して書き込む

お気に入りの音楽CDや、インターネットからダウンロードしたファイルをパソコンに保存したあと、曲を選んでCD-R/RWに書き込む。



＊ MP3, WAV形式のファイル

ATRAC CDについて

ATRAC3plus/ATRAC3フォーマットで圧縮録音した音楽データが入ったCD-R/RWのこと。音楽CD約30枚分の楽曲が1枚のCD-R/RWに録音できます。*
MP3ファイルもATRAC3plus/ATRAC3のフォーマットに変換して録音できます。

* ATRAC3plus、48 kbpsで700 MBのCD-R/RWに一枚あたり約60分のCDを録音した場合

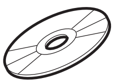
ATRAC3plus/ATRAC3フォーマットについて

10〜13ページをご覧ください。

ATRAC3plusとATRAC3はソニー株式会社の商標です。

「SonicStage」を使って、ATRAC3plus/ATRACフォーマットに変換されます。

ATRAC CD



3

聞く

ATRACポータブルCDプレーヤーで聞く。



お手持ちの音楽CDを楽しむこともできます。

使用可能なデータとディスクの種類

本機では、以下の3種類のソースの演奏が可能です。

- 音楽CD（CDDAフォーマット）
- ATRAC3plus（アトラックスリープラス）/ATRAC3（アトラックスリー）フォーマットのファイルが入ったCD（ATRAC CD）
- MP3フォーマットのファイルが入ったCD（MP3 CD）

使用できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2フォーマットとJoliet拡張フォーマットのみになります。

CD-R/RWについて

本機は、ATRAC3plus/ATRAC3、MP3、CDDA*フォーマットで記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを演奏することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては演奏できない場合があります。

* CDDAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般音楽CDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で演奏できない場合があります。

ご注意

- 本機にはCD書き込み機能はありません。
- ATRAC3plus/ATRAC3で書き込みをしたCDは、パソコンのドライブでは演奏できません。

ATRAC3plus/ATRAC3

「ATRAC3plus（アトラックスリープラス）」は「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、「ATRAC3」をさらに発展させたオーディオ圧縮技術です。高音質と高圧縮を両立させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64 kbpsのとき）に圧縮することが可能となります。使用できるビットレートは、256 kbps/64 kbps/48 kbpsです。

「ATRAC3（アトラックスリー）」は、「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約10分の1に圧縮できるため、メディア容量の小型化が可能となります。使用できるビットレートは、132 kbps/105 kbps/66 kbpsです。

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：255
- 最大ファイル数：999

詳しくは本機に付属の「SonicStage」の説明書をご覧ください。

メディアに書き込むファイルについてのご注意

ATRAC3plus/ATRAC3の記録されているディスクには、ATRAC3plus/ATRAC3/MP3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音楽圧縮の規格。音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

使用できるディスクフォーマットの主な規格は次のとおりです。

- 最大ディレクトリー階層：8階層
- 使用可能文字：英数字、記号（半角のみ）

次のページにつづく

ご注意

- ファイルになまえを付けるときは、「mp3」の拡張子を付けてください。
- MP3ファイルではないファイルに「mp3」の拡張子を付けると、本機はそのファイルを正しく認識することができません。
- プレイリストに使うMP3ファイル名は半角英数のみ使用できます。

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：255
- 最大ファイル数：999

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

- 本機で演奏できるビットレートは、16～320 kbps、サンプリング周波数は、32/44.1/48 kHzで、可変ビットレート（VBR）にも対応しています。
  MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、「追記禁止」の設定をしてください。
- 何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、「Disc at Once」の設定をしてください。

メディアに書き込むファイルについてのご注意

- MP3の記録されているディスクには、MP3/ATRAC3plus/ATRAC3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。
- ディスクが挿入されると本機はディスクに記録されている全フォルダ、全ファイルの情報を読み込みます。ディスクに多くのフォルダがある場合、演奏開始または次のファイルの演奏までに時間がかかることがあります。

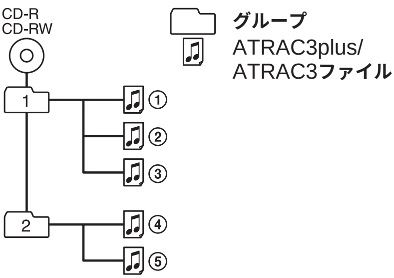
ATRAC3plus/ATRAC3 とMP3のファイル構造

ATRAC3plus/ATRAC3は、「グループ」と「ファイル」から成り立つ、非常に簡単な構造になっています。「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので、音楽CDの「アルバム」に相当します。「グループ」には、ディレクトリー構造という概念はありません。グループの中にグループを作ることはできません。

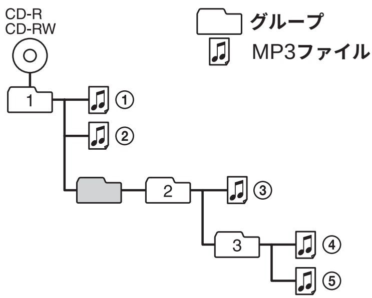
MP3ファイルが記録されたCDでも、「ファイル」は「曲」に、「グループ」は「アルバム」になります。本機では、MP3のフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

ATRAC3plus/ATRAC3/MP3の構造と演奏順

•ATRAC3plus/ATRAC3



•MP3



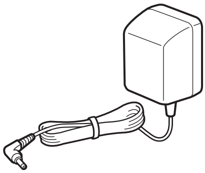
ご注意

- MP3ファイルを含まないグループはとばして演奏します。
- ATRAC3plus/ATRAC3ファイルとMP3ファイルが混在したCDでは、ATRAC3plus/ATRAC3ファイルを優先して演奏します。
- MP3ファイルは書き込みの方法によって演奏の順番が異なる場合があります。

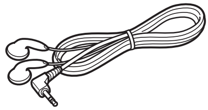
はじめに

付属品を確かめる

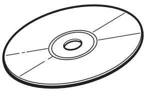
ACパワーアダプター（1）



ヘッドホン（1）



CD-ROM＊ （SonicStage）（1）



＊ CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

取扱説明書（1）

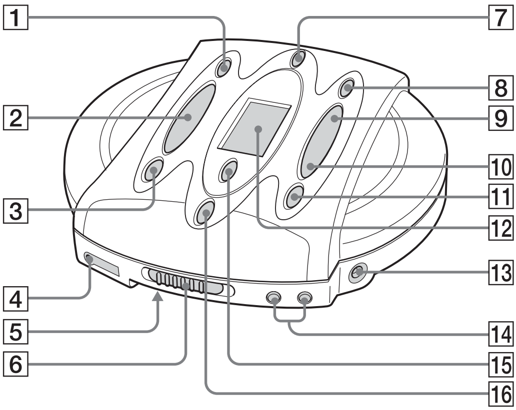
アイワご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

SonicStageの取扱説明書（1）

各部のなまえ

本体

（　）内のページに詳しい説明があります。

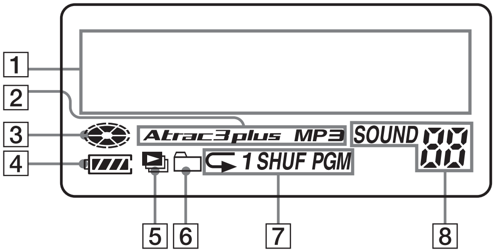


1. 🗀（グループ）/TUNE（チューン）－ボタン（18、23、24、29）
2. RADIO（ラジオ） ON（オン）/BAND（バンド）ボタン（29～31）
3. 🗀（グループ）/TUNE（チューン）＋ボタン（18、23、24、29）
4. 🎧（ヘッドホン）ジャック（17）
5. HOLD（ホールド）スイッチ（裏面）（28）
6. OPEN（オープン）つまみ（17）
7. SCROLL（スクロール） ∨ボタン（20～31、35）
8. PRESET（プリセット）－/⏮（スキップ/サーチ）ボタン（18、22、25、31）
9. RADIO（ラジオ） OFF（オフ）/■（停止）ボタン（18、24、27、29）
10. ►II＊（再生/一時停止）ボタン（18、23、24）
11. PRESET（プリセット）＋/⏭（スキップ/サーチ）ボタン（18、22、25、31）
12. 表示窓
13. DC IN 4.5 Vジャック（17）
14. VOL（ボリューム）＋＊/－ボタン（18）
15. DSPL（ディスプレイ）/MENU（メニュー）/ENTER（エンター）ボタン（19～21、23～32、35）
16. SCROLL（スクロール） ∧ボタン（20～31、35）

＊ 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓

（　）内のページに詳しい説明があります。



1 文字情報表示部（19）
音楽CDではディスク名、曲名など、ATRAC CD/MP3 CDではグループ名、ファイル名などが2行で表示されます。
メニューを選択する画面も表示されます。

2 Atrac3plus/MP3表示

3 ディスク表示
演奏時、点灯します。

4 電池残量表示（33）
電池の残量の目安を表示します。
「」が点滅すると電池が消耗しきっています。

5 プレイリスト表示（21）
MP3 CDのみ。

6 グループ表示（21）
ATRAC CD/MP3 CDのみ。

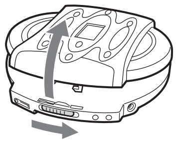
7 演奏モード表示（20、21、23）
シャッフル演奏、プログラム演奏など、演奏状態を表示します。は繰り返し演奏の表示です。

8 SOUND（サウンド）表示（25）
メニューで選んだ音質の設定を表示します。

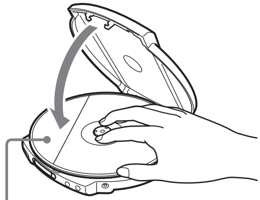
CDを聞く

1. CDを入れる

❶ OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。



❷ CDを入れ、ふたを閉める。



2. 電源を準備する

本機で使用できる電源は以下のとおりです。

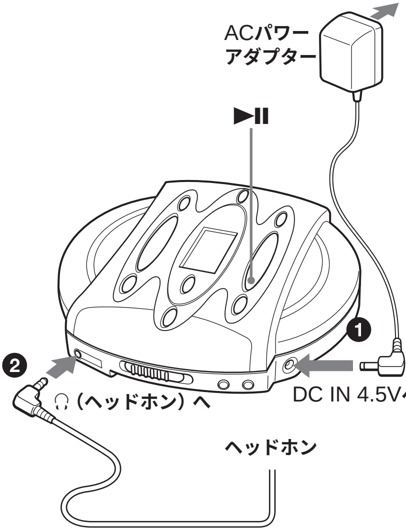
- 単3形（LR6）アルカリ乾電池（33ページ）
- ACパワーアダプター

ここではACパワーアダプターをつないで聞く方法を説明します。

接続は確実に行なってください。

❶ ACパワーアダプターをつなぐ。

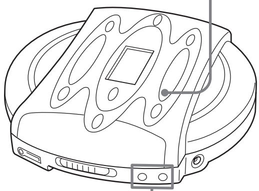
❷ ヘッドホンをつなぐ。



3. 聞く

❶ **▶IIを押す。**

❷ **VOL+または–を押して音量を調節する。**



こんなときは	操作
演奏する（続きから）	▶IIを押す。 前回演奏を止めたところから始まる。
演奏する（1曲目から）	停止中に、演奏が始まるまで▶IIを押したままにする。
一時停止する/一時停止を解除する	▶IIを押す。
演奏を止める*1	■を押す。
今聞いている曲の頭出しをする*1	I◀◀を押す。
前の曲、さらに前の曲の頭出しをする*2	I◀◀を繰り返し押す。
次の曲の頭出しをする*1、*2	▶▶Iを押す。
さらに先の曲の頭出しをする*2	▶▶Iを繰り返し押す。
早戻しする（サーチ機能）*1、*4	I◀◀を押したままにする。
早送りする（サーチ機能）*1、*4	▶▶Iを押したままにする。
グループを送る*3	🗀+を繰り返し押す。
グループを戻す*3	🗀–を繰り返し押す。

*1　これらの操作は、演奏中または一時停止中にできます。
*2　最後の曲で▶▶Iを押すと、1曲目に戻ります。また1曲目でI◀◀を押すと、最後の曲になります。
*3　ATRAC CD/MP3 CDの演奏中のみ操作できます。
*4　パケットライトされたMP3演奏では操作できません。

表示窓でCDの情報を確認する

DSPL/MENU/ENTERボタンを繰り返し押してCDの情報を確認することができます。

CD-TEXTなど文字情報の入っているCDを演奏すると｢曲名｣、｢アルバム名｣、｢アーティスト名｣などが表示されます((　)内参照)。ATRAC CDではSonicStageで入力した情報が表示されます。ID3タグ*1入りのMP3 CDではID3タグの情報が表示されます。

DSPL/MENU/ENTERボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

画面	音楽CD	ATRAC CD/MP3 CD
1	曲番、現在の演奏時間（曲名）	ファイル名、ファイル番号と現在の演奏時間
2	曲番、曲の残り時間 （曲名、アーティスト名）	アーティスト名*3、ビットレートとサンプリング周波数*4、ファイル番号、ファイルの残り時間
3	残りの曲数*2、CDの残り時間*2 （アルバム名、アーティスト名）	グループ名と総ファイル数
4	曲名のリスト	グループ名/ファイル名のリスト

*1　ID3タグとは、曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットのことです。本機はバージョン1.1/2.2/2.3（MP3のみ）に対応しています。

*2　1曲演奏、シャッフル演奏、ブックマークトラック演奏、オートランキング演奏、オートランキングシャッフル演奏、プログラム演奏をしているときは、表示されません。

*3　演奏中、ID3タグが入っていない場合はアーティスト名は表示されません。

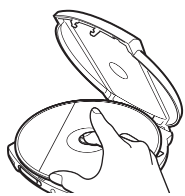
*4　VBR（可変ビットレート）で作成されたMP3ファイルを演奏しているときは、ビットレート部分に「VBR」と表示されます。ただし、曲の途中から表示される場合もあります。

ご注意

- 本機で表示できる文字は、英数字、記号（半角のみ）です。
- ファイルを演奏する前に、本機はCDに記録されているファイルとグループまたはフォルダの全情報を読み込みます。読み込み中は「READING」が表示されます。CDの内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- グループにグループ名がない場合は、「ROOT」と表示されます。
- ファイルにID3タグ情報がない場合は、「- - - - 」と表示されます。

CDを取り出す

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげます。



▶ いろいろな聞きかた

本体のメニュー機能を使って、次の演奏方法で聞くことができます。

- **繰り返し聞く（リピート演奏）**
- **選んだグループの全曲を聞く（グループ演奏）**
- **1曲だけを聞く（1曲演奏）**
- **全曲を順不同に聞く（シャッフル演奏）**
- **選んだグループの全曲を順不同に聞く（グループシャッフル演奏）**
- **選んだプレイリストの曲を聞く（m3uプレイリスト演奏）**
- **ブックマークを付けて聞く（ブックマークトラック演奏）**
- **よく聞く曲順に聞く（オートランキング演奏）**
- **よく聞く曲を順不同に聞く（オートランキングシャッフル演奏）**
- **好きな順に曲を選んで聞く（プログラム演奏）**

聞きかたを選ぶ

次の方法でPLAY MODEメニューを出してから、聞きかたを選びます。

1 メニュー画面が出るまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにする。

```
     MENU
>REPEAT
```

2 ∧または∨を押して「PLAY MODE」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

```
     MENU
>PLAY MODE
```

3 ∧または∨を押して希望の聞きかたを選ぶ。

初期設定は「ALL」（通常の演奏）です。

```
PLAY MODE
>GROUP
```

演奏モード

繰り返し聞く（リピート演奏）

いろいろな演奏を繰り返して聞くことができます。

1 メニュー画面が出るまで、DSPL/MENU/ENTERを押したままにする。

```
     MENU
>REPEAT
```

2 ∧または∨を押して「REPEAT」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

3 ∧または∨を押して「ON」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

```
REPEAT
>ON
```

選んだグループの全曲を聞く（グループ演奏）（ATRAC CD/MP3 CDのみ）

「聞きかたを選ぶ」（左記）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「GROUP」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

1曲だけを聞く
（1曲演奏）

「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「1」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

全曲を順不同に聞く
（シャッフル演奏）

「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「SHUFFLE」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

選んだグループの全曲を順不同に聞く
（グループシャッフル演奏）
（ATRAC CD/MP3 CDのみ）

「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「GROUP SHUF」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

選んだプレイリストの曲を聞く
（m3uプレイリスト演奏）
（MP3 CDのみ）

好きなm3uプレイリスト*の中の曲を聞くことができます。

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/RWを作成したときに使用できます。

1 「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「PLAY LIST」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

2 ∧または∨を押してプレイリストを選ぶ。



3 ►IIを押す。

ブックマークを付けて聞く（ブックマークトラック演奏）

演奏中に好きな曲や聞きたい曲にブックマーク（しおり）を付けて、その曲だけを聞けます。

音楽CD：	1枚のCDにつき最大99曲、CD10枚まで。
ATRAC CD：	1枚のCDにつき最大999曲、CD5枚まで。
MP3 CD：	1枚のCDにつき最大999曲、CD5枚まで。

ブックマークを付ける*

1 ブックマークを付けたい曲の演奏中に、「」が消えて代わりに「」が点滅するまで▶❚❚を押したままにする。

登録されると「」の点滅がゆっくりになります。

2 ❙◀◀または▶▶❙を押してブックマークを付けたい曲を選び、手順1を繰り返してブックマークを登録する。

ブックマークを付けた曲を聞く

「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「BOOK MARK」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

ブックマークを付けた曲の演奏が始まります。

ブックマークを消す*

「」が消えるまで▶❚❚を押したままにする。

ブックマークの付いている曲を確認する*

ブックマークの付いている曲の演奏中は、「」が点灯します。

* これらの操作は画面1（19ページ）のときに行ってください。

ご注意

- ブックマークトラック演奏では、ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の少ないほうから演奏されます。
- 11枚以上（ATRAC CD/MP3 CDの場合、6枚以上）のCDにブックマークを付けようとすると、すでにブックマークの付いているCDのうちで最初に演奏したCDのブックマークから消えていきます。
- 電源をすべてはずした場合、登録されていたすべてのブックマークが消えます。

よく聞く曲順に聞く（オートランキング演奏）

演奏中のCDのよく聞く曲を本機が自動的に記憶して10位から順に1位まで演奏します。

「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「AUTO RANKING」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

よく聞く曲を順不同に聞く（オートランキングシャッフル演奏）

本機が自動的に記憶したよく聞く曲最大32曲を順不同に演奏します。

「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「RANKING SHUF」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

ご注意

よく聞く曲はディスクを入れ換えても10枚分まで記憶されます。11枚以上のディスクを記憶させようとすると、記憶されている情報で最も古いものから消えていきます。

好きな順に曲を選んで聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を好きな順に最大64曲まで選んで聞けます。

1 停止中に「聞きかたを選ぶ」（20ページ）の手順1、2を行い、∧または∨を押して「PROGRAM」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

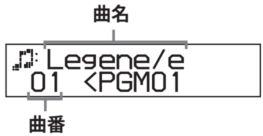
2 ⏮または⏭を押して曲を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

選んだ曲が確定します。
ATRAC CD/MP3 CDでは、🗀＋または🗀－ボタンを押して別のグループの曲を選ぶことができます。
ATRAC CD/MP3 CDでは演奏順とファイル名が表示されます。

[音楽CD]



[CD-TEXT]



[ATRAC CD/MP3 CD]



3 手順2を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。

4 ▶IIを押して演奏を始める。

次のページにつづく

選んだ曲順を確認する

曲を選んでいるとき：
手順4の操作の前にDSPL/MENU/ENTERを繰り返し押し続けます。

ご注意

- 手順3で64曲を選び終わると、音楽CDでは「000」ではなく最初に登録した曲番が、ATRAC CD/MP3 CDでは最初に登録したファイル名が表示されます。
- 65曲以上選ぶと、最初に選んだ曲から消えていきます。

グループや曲を選んで聞く（サーチ）

演奏中に、本体の∧または∨を使って簡単にグループ（ATRAC CD、MP3 CDのみ）や曲を選んで聞くことができます。

1 **演奏中に∧または∨を押してサーチ画面を出す。**



2 **🗀+または🗀–を押して好きなグループを選び、►IIを押す。**
グループの1曲目から演奏が始まります。

曲を選んで聞く

1 上記の手順1を行い、🗀+または🗀–を押して好きなグループを選ぶ。
2 ∧または∨を押して好きな曲を選び、►IIを押す。
選んだ曲から順に演奏が始まります。

サーチを止める

■を押す。

最長で約40秒間何もしないと元の画面に戻ります。

音質を変える
（パラメトリックイコライザー機能）

次の2つの方法で、お好みの音質で演奏することができます。

- あらかじめ用意された音質を選ぶ
  →「好みの音質を選ぶ」
- お好みの音質を自分で設定する
  →「好みの音質にする」

好みの音質を選ぶ

1 メニュー画面が出るまで、DSPL/MENU/ENTERを押したままにする。
2 ∧または∨を押して「SOUND」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。
3 ∧または∨を押して好みの音質を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

表示	音質
SOFT	中域を強調したヴォーカルなどに適した音
ACTIVE	低域と高域を強調したメリハリのある音
HEAVY	低域と高域をさらに強調した迫力ある音
CUSTOM	記憶させた好みの音質

好みの音質にする

3つの音域「LOW」（低音域）、「MID」（中音域）、「HIGH」（高音域）で、それぞれの音の大きさを調整して好みの音質を設定することができます。各音域はさらにそれぞれ3段階あり、そのうちの1つの音域の音の大きさを7段階に設定できます。

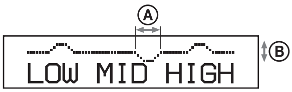
表示窓に表示される波の高さと位置を見ながら調整します。

1 **「好みの音質を選ぶ」の手順1～3を行い、「CUSTOM」を選ぶ。**

2 **調整したい音域が表示されるまで⏮または⏭を2秒以上押して選ぶ。**
選択された音域が点滅します。



3 **∧または∨を押して音の大きさを選び、⏮または⏭を繰り返し押して音域を選ぶ。**



Ⓐ: 音域
Ⓑ: 音の大きさ

4 **手順2、3を繰り返して、残りの音域の設定を行う。**

5 **DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

1つ前の画面に戻す

🗀 – を押す。

途中で設定を止める

■を押す。

次のページにつづく

ご注意

- CUSTOMの設定によっては音量を大きくした場合、音が歪むことがあります。その場合は音量を下げてください。
- CUSTOMを選んだときとそれ以外の音質では音の大きさが変わったように感じることがあります。音量を調節してください。
- ラジオを聞いているときはパラメトリックイコライザー機能は働きません。

音飛びを抑える
（E•A•S•S GP機能）

E•A•S•S* GPはジョギング時などの衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。

1 **停止中に**MENU**画面が出るまで** DSPL/MENU/ENTER**を押したままにする。∧または∨を押して**「OPTION」**を選び、**DSPL/MENU/ ENTER**を押す。**

2 **∧または∨を押して**「EASS GP」**を選び、**DSPL/MENU/ENTER**を押して決定する。**

3 **∧または∨を押して**「EASS GP 1」**または**「EASS GP 2」**を選び、**DSPL/ MENU/ENTER**を押して決定する。**
「EASS GP 2」を選ぶと「EASS GP 1」よりさらに音飛びに強くなります。CD本来の高音質で楽しみたいときは、「EASS GP 1」を選んでください。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるCDを聞いている場合
- CD-R/RWでは、ディスクの質がよくなかったり、記録に使用したレコーダーの状態に問題がある場合

* E•A•S•SはElectronic（エレクトロニック） Anti（アンチ）-Shock（ショック） System（システム）の略です。

音もれを抑える
（AVLS機能）

音量の上げすぎによる音もれ、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことによる危険などを少なくするために、音量をある一定以上に上げないようにします。

1 MENU**画面が出るまで**DSPL/ MENU/ENTER**を押したままにする。∧または∨を押して**「OPTION」**を選び、**DSPL/MENU/ENTER**を押す。**

2 **∧または∨を押して**「AVLS*」**を選び、**DSPL/MENU/ENTER**を押して決定する。**

3 **∧または∨を押して**「ON」**を選び、**DSPL/MENU/ENTER**を押して決定する。**

AVLS機能を解除する

手順1～3を行い、AVLS設定を「OFF」にする。

＊ AVLSはAutomatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

設定時間後に停止する（タイマー機能）

指定した時間がたつと、自動的に演奏が停止します。1分から99分まで設定できます。タイマー機能が働いているときは、約5秒ごとに⏻が点灯します。＊

＊ 画面1、2（20ページ）のときのみ。

1 **MENU画面が出るまでDSPL/MENU/ENTERを押す。∧または∨を押して「OPTION」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。**

2 **∧または∨を押して「TIMER」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

3 **∧または∨を押して「10 min*」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。**

＊ お買い上げ時の設定。設定時間を変えた場合、その時間が表示されます。

4 **∧または∨を押して「設定したい時間（「01 min」～「99 min」）」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

- 5分ずつ増減：∧または∨を繰り返し押す。
- 1分ずつ増減：∧または∨を2秒以上押す。

1つ前の画面に戻す

🗀ーを押す。

途中で設定を止める

■を押す。

停止までの時間を確認する

演奏中に手順1～3を行う。

タイマー機能を解除する

次の場合、タイマー機能は解除されます。

- 手順1～3を行い、OFF TIMER設定を「OFF」にした場合
- ラジオを受信した場合

誤操作を防ぐ
（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、動作するのを防ぎます。

HOLD機能が働いているときに操作しようとすると、表示窓に「HOLD」が点滅します。

HOLDスイッチを矢印の方向にずらす。

HOLD機能を解除する

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらす。

操作の確認音を止める

ヘッドホンから聞こえる操作確認のためのピッという音を鳴らないようにします。

1 **MENU画面が出るまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにする。∧または∨を押して「OPTION」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。**

2 **∧または∨を押して「BEEP」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

3 **∧または∨を押して「OFF」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

再び確認音が鳴るようにする

手順1～3を行い、BEEP設定を「ON」にする。

曲間をあけないようにする（シームレス機能）
（ATRAC CDのみ）

ライブやコンサートの音楽を聞くときなどに、曲と曲の間をあけないで聞くことができます。

1 **停止中にMENU画面が出るまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにする。∧または∨を押して「OPTION」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。**

2 **∧または∨を押して「SEAMLESS」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

3 **∧または∨を押して「ON」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。**

ご注意

ソースの録音状態によっては曲がつながらないことがあります。

ラジオを聞く

FM、AM、TV（テレビ）の放送を聞くことができます。

1 **RADIO ON/BANDを押してFM、AMまたはTVを選ぶ。**
ボタンを押すと自動的に電源が入ります。

→ FM → AM → TV

2 **TUNE ＋またはーを押して聞きたい放送局に合わせ、音量を調節する。**

ラジオを止めるには

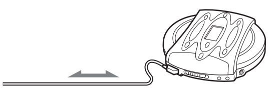
RADIO OFF/■を押します。

聞きたい局をすばやく受信する

「ラジオを聞く」の手順2で、受信周波数が自動的に変わり始めるまで、TUNE ＋またはTUNE –を押したままにします。放送局を受信すると「ピッ」と音がして自動的に止まり、放送が聞こえます。

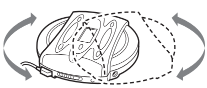
よい受信状態で聞く

FMの場合：ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけのばしてお使いください。



ヘッドホン

AMの場合：CDプレーヤーの向きを変えて最もよく受信できる状態を選んでください。



FMステレオ放送が受信しにくいときは

1 **ラジオ受信中に、次の表示が出るまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにする。**

```
>AVLS
 MONO
```

2 **∧または∨を押して「MONO」を選び、DSPL/MENU/ENTERボタンを押す。**

3 **∧または∨を押して「ON」を選び、DSPL/MENU/ENTERボタンを押す。**

乾電池でラジオをお聞きの場合は

DC IN 4.5Vジャックに外部電源のプラグを差し込むとラジオは切れます。続けてラジオを聞くには、もう一度RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつけてください。

音もれを抑える（AVLS機能）

音量の上げすぎによる音もれ、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことによる危険などを少なくするために、音量をある一定以上に上げないようにします。

1 ラジオ受信中に画面表示が変わるまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにする。
2 ∧または∨を押して「AVLS」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。
3 ∧または∨を押して「ON」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

AVLS機能を解除する

手順1～3を行い、AVLS設定を「OFF」にする。

設定時間後にラジオを消す

指定した時間がたつと、自動的にラジオが消えます(電源が切れます)。10分から99分までの間で10分刻みで設定できます。タイマー機能が働いているときは、約5秒ごとに⏲が点灯します。

1 ラジオ受信中に表示が変わるまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにする。

2 ∧または∨を押して「TIMER」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

3 ∧または∨を押して「設定したい時間(「10」～「99」)」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押して決定する。

ラジオが消えるまでの時間を確認する

ラジオを聞いているときに手順1、2を行う。

タイマー機能を解除する

次の場合、タイマー機能は解除されます。

- 手順1～3を行い、TIMER設定を「OFF」にした場合
- ラジオを止めた場合
- CDを演奏した場合

放送局を記憶させる

FM30局、AM10局、テレビ7局合計47局まで記憶させることができます。

1 RADIO ON/BANDを押してFM、TVまたはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。

2 RADIO ON/BANDを2秒以上押す。

表示窓にプリセット番号の表示が点滅します。



3 DSPL/MENU/ENTERを2秒以上押す。

周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局のチェックが始まります。受信するとそこで約3秒間止まります。

4 受信した局を記憶させたいときは、プリセット番号が点滅している間にDSPL/MENU/ENTERを押す。

受信した局がプリセット番号1に記憶され、再びチェックが始まります。受信してから3秒以内にDSPL/MENU/ENTERボタンを押さないと、その局は記憶されず、次の局のチェックが始まります。

5 受信可能な局をすべてチェックして必要な局を記憶させるまで、手順4を繰り返す。

新しい局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた局は消えます。
通常のラジオ受信状態に戻すには、プリセット番号の点滅が止まるまでRADIO ON/BANDを押したままにします。
他のバンドに記憶させるには、その後手順1から4を繰り返します。

手動で放送局を記憶させるには

放送局を自動的に記憶できなかったときは、手動で記憶させます。

1 RADIO ON/BANDを押して、FMまたはAMを選ぶ。

2 表示窓にプリセット番号が点滅されるまでRADIO ON/BANDを押したままにする。



3 PRESET+または−を繰り返し押して記憶させたいプリセット番号を選ぶ。

4 TUNE+または−を押して記憶させたい放送局を選ぶ。

5 DSPL/MENU/ENTERを押す。

放送局が記憶されます。

新しい局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた局は消えます。

6 手順3から5を繰り返して放送局を記憶させる。

通常のラジオ受信状態に戻すには、プリセット番号の点滅が止まるまでRADIO ON/BANDボタンを押したままにします。

他のバンドに記憶させるには、その後手順1から5を繰り返します。

ご注意

プリセット番号が点滅している間（30秒以内）に手順3または5を終了できなかったときは、手順2からやり直してください。

記憶させた放送局を聞くには

1 RADIO ON/BANDを押して、FM、AMまたはTVを選ぶ。

2 PRESET+または−を押して、記憶させた局のプリセット番号を選ぶ。

記憶させた放送局を一度に消すには

1 ラジオがOFFのとき（CDが停止しているとき）に、MENU画面が表示されるまで、DSPL/MENU/ENTERを押したままにする。

2 ∧または∨を押して「OPTION」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

3 ∧または∨を押して「TUNER PRESET」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。
「Clear?」と表示されます。

4 DSPL/MENU/ENTERを押す。

海外でお使いになるときは

AMの周波数間隔を変えることができます。お聞きになる地域によって、「9kHz」または「10kHz」に合わせてください。

9 kHzの地域：
日本、アジア、ヨーロッパ

10 kHzの地域：
米国、カナダ、南アメリカ

ご注意

周波数間隔を変えたときは、記憶させていた放送局の情報は失われます。再び入れ直してください。

1 ラジオがOFFのとき（CDが停止しているとき）に、MENU画面が表示されるまで、DSPL/MENU/ENTERを押したままにする。

2 ∧または∨を押して「OPTION」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

3 ∧または∨を押して「AM STEP」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

4 ∧または∨を押して「9 kHz」または「10 kHz」を選び、DSPL/MENU/ENTERを押す。

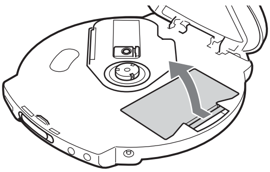
乾電池で使う

ACパワーアダプターをはずしてから乾電池を入れます。

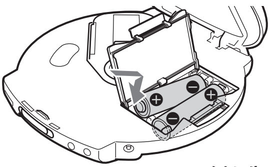
使用できる乾電池

単3形(LR6)アルカリ乾電池

1 **本体のふたを開け、中の電池ぶたを開ける。**



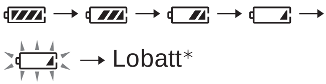
2 **単3形(LR6)アルカリ乾電池2本を電池入れの表示に合わせて入れ、「カチッ」と音がするまでふたを閉める。**



⊖側を先に入れてください。

残量のめやすを確認する

表示窓で次のように表示が変わり、電池の残量のめやすを確認できます。



*「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、乾電池を交換してください。

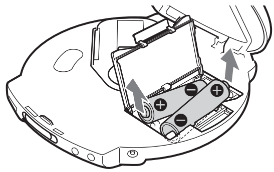
ご注意

- の中の部分は残量のめやすを表わしています。1つが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、の中の部分が増減します。

電池の持続時間は、「主な仕様」をご覧ください。

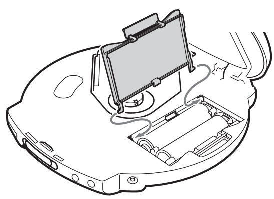
乾電池を取り出すには

下図のようにして取り出してください。



電池ぶたが外れたときは

電池ぶたは、本機を誤って落としたり、無理な力を加えたりすると外れることがあります。外れたときは、下図のようにして元に戻してください。



電源についてのご注意

本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

ACパワーアダプターについて

- 付属のACパワーアダプターをご使用ください。他のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ（JEITA規格）

- ACパワーアダプターは容易に手がとどくような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

メニュー一覧

MENU画面が出るまでDSPL/MENU/ENTERを押したままにし、∧または∨を押して選びます。

```
      MENU
>REPEAT
```

前の画面に戻るには、🗀–を押します*1。
メニュー操作をやめるには、■を押します。

●印が付いているものは、お買い上げ時の設定です。

演奏方法の設定(ページ)	メニュー 1	➡	メニュー 2
繰り返し聞く (20)	REPEAT		ON ●OFF
通常の演奏	PLAY MODE		ALL
選んだグループの全曲を聞く (20)	PLAY MODE		GROUP*2
1曲だけ聞く (21)	PLAY MODE		1
全曲を順不同に聞く (21)	PLAY MODE		SHUFFLE
選んだグループの全曲を順不同に聞く (21)	PLAY MODE		GROUP SHUF*2
ブックマークを付けた曲を聞く (22)	PLAY MODE		BOOK MARK*3
選んだプレイリストの曲を聞く (21)	PLAY MODE		PLAY LIST*4
よく聞く曲順に聞く (22)	PLAY MODE		AUTO RANKING
よく聞く曲を順不同に聞く (23)	PLAY MODE		RANKING SHUF
好きな順に曲を選んで聞く (23)	PLAY MODE		PROGRAM*5

*1 プログラム設定時以外
*2 ATRAC CD/MP3 CDのみ
*3 ブックマークが登録されているときのみ
*4 m3uプレイリストが登録されているときのみ
*5 停止中にのみ設定できます。

次のページにつづく

音に関する設定（ページ）	メニュー 1 ➡	メニュー 2 ➡	メニュー 3
音質を変える（25）	SOUND	●OFF SOFT ACTIVE HEAVY CUSTOM	—

いろいろな機能の設定（ページ）	メニュー 1 ➡	メニュー 2 ➡	メニュー 3
音飛びを抑える（26）	OPTION	EASS GP＊1	●EASS GP 1 EASS GP 2
音もれを抑える（26）	OPTION	AVLS	ON ●OFF
設定時間後に停止する（27）	OPTION	TIMER	10 min＊2 ●OFF
操作の確認音を止める（28）	OPTION	BEEP	●ON OFF
曲間をあけないようにする（28）	OPTION	SEAMLESS＊1、＊3	ON ●OFF
記憶させた放送局を一度に消す（31）	OPTION	TUNER PRESET	Clear?
AMの周波数間隔を変える（32）	OPTION	AM STEP	●9 kHz 10 kHz

＊1　停止中にのみ設定ができます。
＊2　お買い上げ時の設定。設定時間を変えた場合、その時間が表示されます。
＊3　ATRAC CDのみ

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。

  CDに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはアイワお客様ご相談センターに相談してください。

CDの取り扱いについて

- 演奏面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、炎天下で窓を閉め切った車の中に放置しないでください。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

症状	原因/処置
VOL +ボタンを押し続けても音量が小さすぎる。	→ AVLS設定が「ON」になっている。「OFF」にする。（26ページ）
音が出ない、または雑音が聞こえる。	→ ヘッドホンのプラグをしっかり差し込む。（17ページ） → ヘッドホンのプラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布で拭く。
ファイルが演奏されない。	→ 本機で演奏可能なフォーマット以外のファイルを演奏しようとした。（10ページ）
乾電池使用時の演奏時間が短い。	→ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。（33ページ） → 新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する。（33ページ）
「Lobatt」が表示される。演奏が始まらない。	→ 新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する。（33ページ）
「Hi DC in」が表示される。	→ 定格を超えたACパワーアダプターを使用している。ACパワーアダプターは付属のものを使う。（17ページ）
演奏が始まらない。または、CDを入れても「No disc」が表示される。	→ CDが汚れている、または大きな傷がある。CDをクリーニングする。大きな傷がある場合は、CDを交換する。 → CDのラベル面を上にして入れる。（17ページ） → 結露している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。 → 電池ぶたをしっかり閉める。（33ページ） → 乾電池を正しく入れる。（33ページ） → ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。（17ページ） → ACパワーアダプターを接続してから1秒以上たってから▶IIを押す。 → CD-R/RWに何も記録されていない。 → CD-R/RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合がある。
ボタンを押すと「HOLD」が点滅し、演奏が始まらない。	→ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらして、HOLD状態を解除する。（28ページ）
止めたところから演奏が始まる。（リジューム機能）	→ リジューム機能が働いている。1曲目から演奏を始めるには、停止中に▶IIを押したままにする。 または本体のふたを開ける。あるいはすべての電源をはずして、つなぎ直す。（17、18ページ）
CDのすれる音がする。	→ 電池ぶたをしっかり閉める。（33ページ）

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	原因/処置
ATRAC CDまたはMP3 CD の演奏中にCDが回転しないが、演奏は正常に聞こえる。	➔ 本機はATRAC CDとMP3 CDの演奏中は電力消費を減らすためにCDの回転を止めるように設計されています。故障ではありません。
►IIを押したあとや本体のふたを閉めたときに「NO FILE」が表示される。	➔ CDにATRAC3plus/ATRAC3/MP3ファイルが含まれていない。 ➔ CD-R/RWに何も記録されていない。 ➔ CDが汚れている。
本体のふたを閉めるとディスクが回転する。	➔ ディスクの情報を読んでいます。故障ではありません。
液晶表示が見えにくい。表示の変わりかたがゆっくりになる。	➔ 温度が高いところ（40°C以上）や低いところ（0°C以下）で使用している。常温になればもとに戻ります。
突然、演奏が止まった。	➔ タイマーが設定されている。メニューのOFF TIMER設定を「OFF」にする。（27ページ）
ラジオを聞いているとき、音が小さかったり、雑音が出る。	➔ 電池が消耗している。すべて新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する。（33ページ） ➔ 本機をテレビから遠ざける。 ➔ 本機をACパワーアダプターから遠ざける。
タイマー機能が解除される	➔ CDプレーヤーとしてタイマーを設定したときは、ラジオを受信するとタイマーが解除されます。（27ページ） ラジオを聞いているときにタイマーを設定したときは、ラジオを止めたりCDを演奏すると、タイマーが解除されます。（30ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー

型式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化（D/A）

1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性*

20 Hz ～ 20 000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB

出力端子（電源電圧4.5 V時）

- ヘッドホン出力
  （ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　5 mW+5 mW
  （JEITA/16 Ω）
  推奨負荷インピーダンス　16 Ω

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

ラジオ

周波数範囲

- 9 kHz STEP
  FM: 76.0 - 108.0 MHz
  AM: 531 - 1710 kHz
- 10 kHz STEP
  FM: 87.5 - 108 MHz
  AM: 530 - 1710 kHz

- TV:1-12 ch

アンテナ

FM: ヘッドホンコードアンテナ
AM: 内蔵フェライトバーアンテナ

電源・その他

電源

- 単3形（LR6）アルカリ乾電池2本（別売り）：DC 1.5 V × 2
- 外部電源ジャック：定格DC 4.5 V
  ACパワーアダプター（付属）を接続して
  AC 100 V電源から使用可能

電池の持続時間*1

水平に置き、振動のない状態で演奏した場合。
SOUND設定が「OFF」のとき。
演奏時間は使用状況により異なります。

アルカリ乾電池2本*2使用時		
	E•A•S•S GP 設定「EASS GP 1」	 設定「EASS GP 2」
音楽CD	約50時間	約45時間
ATRAC3 CD*3	約80時間	約80時間
MP3 CD*4	約62時間	約62時間
ラジオON時	約75時間	

*1　電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。
*2　日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定。
*3　48kbpsで記録されたCDの場合。
*4　128kbpsで記録されたCDの場合。

動作温度

5°C～35°C

本体寸法（幅 × 高さ × 奥行き）

約136.2 × 30.1 × 143.0 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）（JEITA*）

約136.2 × 30.7 × 143.3 mm

質量

本体: 約230 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CEマークは、それが法的に強制されている国—主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国— でのみ有効です。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー

アクティブ スピーカー	SC-DP300
接続コード	RK-G129HG RK-G136HG

海外でお使いになるときは

付属のACパワーアダプターは、国内にてAC100 V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけます。
本機を海外でお使いになるときは、使用する地域の電圧・電源コンセントの形状を確認のうえ、対応するACパワーアダプターをお使いください。
海外で使用できるACパワーアダプターを国内でお求めになる場合、多くの地域の電圧に対応する「AC-E45A」（AC100 V～240 V、50/60 Hzの範囲で使用可能）をおすすめいたします。
各国・各地域の電源コンセントの形状や電圧などの詳しい電源事情は、旅行代理店などでお確かめください。

お問合せ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ** (http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/)

  本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ アイワお客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ポータブルCD]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：XP-ZR810
    - シリアル番号：本体裏面に記載されています。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン (メーカー名/型名)：
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量/ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名/種類 (外付けまたは内蔵)：
    - エラーメッセージ (エラーメッセージが表示された場合)：

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

● http://www.jp.aiwa.com/

アイワお客様ご相談センター

● ナビダイヤル ··········· 0570-00-4680

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）

● 携帯電話・PHSでのご利用は‥0466-31-4833

（ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。）

● FAX ························ 0466-31-4250

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China